

八戸市内の物流関連企業を見学する学生
（八戸市提供）



物流の現場知って 市が学生向けバスツアー

八戸

八戸市は9日、八戸地域の物流の現場を知ってもらおうと、学生向けの「物流関連企業見学バスツアー」を開催した。八戸学院大の学生9人が八戸貨物駅などを訪れ、業界の現状などを学んだ。

八戸市が物流の拠点であることをアピールし、物流関係の業種を将来の選択肢としてもらうことを目的に実施した。同日はJR貨物の八戸貨物駅や八戸港フェリーターミ

ナル、同港多目的国際物流ターミナル、八戸通運の北インター工業団地物流倉庫の4カ所を見学。それぞれ説明を受けながら、荷役の流れなどに理解を深めていた。

同大地域共創学部地域共創学科3年の三浦孝子さんは「物流によるつながりを強く感じることで、当たり前の生活を作る基盤を学べた。物流の重要性の高さに対応した人手不足への対策なども大切だと感じた」と話した。

（藤村大地）